

## □文化振興計画策定庁内作業部会（第2回会議）での意見

### 1. 文化花咲かそう推進プラン（素案）について

都市計画課：計画のP45（2）評価指標、年間に芸術・文化活動を行ったことがある市民の割合で、コロナ前の水準に近づけていくことを目指すには、目指そう値が30%とするのは低いのでは。

郷土文化課・図書館：博物館では、施設の運営の効率化やアーカイブ化などで、文化庁からもDXがよく言われるが、計画に盛り込まないのか。

観光課：計画のP23、丸印であげている6つの課題は、小見出しがあるとわかりやすい。

### 2. 文化活動について

子育て施設課：. 保育所の出欠や連絡もオンライン化でタブレットやパソコンを利用。保護者もスマホで子守っていて、子どももスマホで遊んでいる。散歩や人形劇を見に行くなど本物を見せたり、もっと人とのふれあいを楽しんでほしい。以前はマドカホールで開催しているクラルテの人形劇も申込が多かったが、今はポスターを貼っても関心が薄い。お金を払ってまで見に行くことがなくなった。

郷土文化課：研究会もオンラインで開催され、遠方でも参加しやすいため、対面に戻す意見もあるが、オンラインのまま続いている。一方で、ワークショップは参加者同士の交流もできるので対面の方がよいなど、対面のよさもわかってきた。

都市計画課：主力はオンラインと言われているが、それはテレビで映画を見るのと同じ。体感をしてもらうことを主軸に進めていくべき。ITの活用は、来られない方に知ってもらう等の情報発信のツールの一つ。

郷土文化課：予算のこともあるのですがすぐには難しいが、文化芸術活動を支援して、文化活動のレベルアップを図るためにも、安く使うことばかり考えず、謝礼など対価をきちんと払うべき。